

はじける笑顔が
私たちの魅力！

今「よさこい」が熱い！

チーム満天星は、「よさこい」のチームです。では「よさこい」とは？最初におさらいしておきましょう。

大本は、高知県に伝わる「よさこい節」。この民謡をベースに「よさこい鳴子踊り」の音楽と振り付けが創案され、昭和29年に高知で「よさこい祭り」が始まりました。祭りの発展につれて、創作踊りを披露する団体が増えてきます。

この流れを決定づけたのが、平成4年に札幌で始まった「YOSAKOIソーラン祭

チーム満天星



代表・前橋佳恵 さん
Kae Maebashi

副代表・木村みゆき さん
Miyuki Kimura

り」。チームを組んで踊りを競うこの祭りは、年を追うごとに規模を拡大しました。その熱は全国に広がり、「よさこい」踊りを披露する同様の祭りは、現在では数十を数えます。

鳥取にもこの熱は伝わります。9年前、智頭町商工会青年部のみなさんが、兵庫県加古川市の「踊っこまつり」を見て大きな衝撃を受け、同じような祭りを智頭町でも行いたいと考えて、チーム満天星を立ち上げたのです。

智頭から鳥取へ

ドウダンツツジは智頭町の

花。メンバーも最初はほとんどが智頭町の人でした。今は代表を務める前橋佳恵さんは、創立時からのメンバーで、当時は小学生。「母と一緒に参加したんです。堅苦しい感じではなく『友達と一緒に踊ろう』という軽い気持ちでした」と当時のようすを振り返ります。市内に住む副代表の木村みゆきさんは7年前、チームの元気な踊りをテレビで見て感激しました。智頭町との縁はないものの、伝手を頼って練習会場を訪ねます。「練習を見たらすぐくて…。やる気があれば誰でもOKと言ってくだ



代表の前橋さんが創作した振り付けを、先頭に立って指導します

さり、子どもたちと一緒に参加しました」と木村さん。

そんなチーム満天星にも転機が訪れます。

気軽な集まりとして結成されたこのチーム。求心力が薄れたのか、大人のメンバーが次々にやめ、子どもばかりに。また、代表者を交代することになり、当時高校2年生だった前橋さんが代表に就任すると、「子どもが代表とは」といった反発も出ました。

さらには練習会場の経費の問題。子どもたちがほとんどのチームでは、多額の会費を集めることもできません。

《4月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週火・金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷砂の美術館第4期展示
- ▷食育らくらくクッキング
＜野菜たっぷりメニュー編 Vol.4＞
- ▷元気です「チーム満天星」
- ▷今年度の主な事業



静止画文字情報『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

春を迎え稲作の準備が始まったようすや、農作物の栽培技術を学ぶ農業塾開講の話題などをお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

入学式や入園式、もちがせ流しびなをはじめとする各地の春のまつりのようすなどをお送りします。

生活情報番組『びよんびよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介합니다。

地デジの準備をお願いします！

アナログ放送は平成23年7月24日に終了し、地上デジタル放送に完全移行します。視聴方法など詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット ☎ (0857)22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。番組の放送時間は、ホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください。
<http://www.inabapyonpyon.net>

2ch



この状況を救ったのが、木村さんでした。会場費のかからない鳥取市内の体育館に練習会場を移すことを提案したのです。すると、市内の人からの入会希望が増え、チームに再び活気が戻ってきました。

若いリーダーと裏方の大人

前橋さんの高校生での代表就任は、やはりすんなりとはいきません。木村さんは「前橋さんは振り付けを作るし、子どもたちに信頼される。でも、最初は少し横柄な態度をとるようになってしまっ

て、大人の私たちが見守ってあげなければと思いましたが、今はずいぶん穏やかになりましたよ」と話すと、前橋さんは「私には子どもの気持ちに分かる。大人には私たちが子どもの気持ちに分からない、子どもたちだけでがんばらなきゃと思っていました。でも、私にも大人の気遣いが分かるようになり、今ではすっかり信頼しています」と応えます。

前橋さんは先頭に立って振り付けを指導し、大人たちはしっかりと裏方を務め、約30人のメンバーは和やかに練習

を進めます。

頼まれて1日4公演！

「しゃんしゃん祭」や「とっとり初夢ロード」でよさこいを披露し、知名度がどんどん上がるチーム満天星は、地域の祭りや老人ホームの納涼祭など、多方面から公演の依頼を受けるようになりました。

「多い日には1日4公演。でも頼まれたら断れないですね」と前橋さん。木村さんも「体はきついけど、喜んでもらえます」と『来てよかった』と思います。

努力と活躍が実り、昨年の

しゃんしゃん祭では、すずっこ踊りのグランプリを受賞、5年連続出演したとっとり初夢ロードでは感謝状を贈呈されました。「8年出場した加古川踊っこまつりでも、加古川市教育長賞をいただき、みんな涙を流して喜びました」と木村さん。出演140団体の中の6位という快挙です。

前橋さんは、この春短大を卒業し、チームとの関わりも変化します。しかし、若さと笑顔があふれるチーム満天星のよさこいは、変わらず私たちを楽しませてくれることでしょう。